

情報サービス産業白書 2013 「変革への絶えざる挑戦」 講演会開催



平成 25 年 2 月 5 日(火)、日本通運本社ビル 2 階大会議室にて、「情報サービス産業白書 2013 『変革への絶えざる挑戦』 講演会」が約 60 名の参加者を得て開催された。

情報サービス産業白書は、情報サービス産業の現状と動向を把握するため、当業界各種統計及び最新情報の集大成として、1986 年より JISA が毎年編纂しているものである。27 冊目となる「情報サービス産業白書 2013 年版」は昨年 12 月に日経 BP 社より刊行され、当業界の経営環境変化の中で、業界各社や業界全体の改革に向けた取り組みの現状を把握するとともに、今後なすべき事を提言している。

当日は冒頭、主催者として神山茂・副会長・広報・人材委員会委員長より挨拶があり、今回の白書について「業界の現状をよく表している」と評価しつつ、今後は先行者の変革に追随するのではなく、自らが変革を創り出すことがグローバルで勝ち残るために必要であると述べた。

次に宗平順己・白書編集部会・部会長 ((株)オージス総研 執行役員技術部長) が「顧客視点からの問題提起」と題して、ユーザの IT 投資が「攻めの投資」へと変化する中で、IT 部門が直面している課題や求められている役割について述

べるとともに、今回の白書のテーマの背景である JISA におけるこれまでの構造改革の議論の流れについて説明した。

続いて、委託先の(株)野村総合研究所より、小菅一弘氏 (ICT メディア産業コンサルティング部) が「情報サービス白書 2013 の概要」と題し、構造改革の進捗状況と今後の方向性について述べるとともに、変革推進へのカギについて多くの事例紹介を交えながら説明した。

休憩を挟んで後半は白書に関連したアップトゥデートなテーマとして、新保史生氏 (慶應義塾大学 総合政策学部 准教授) より「ビッグデータの取扱いをめぐる法的責任と情報管理のあり方」と題する講演が行われた。新保氏は、ビッグデータに関連する多くの事例について、プライバシー保護などさまざまな法的課題を指摘するとともに、プライバシー・バイ・デザイン (PbD)などの解決策が紹介された。また、OECD における取り組みなどグローバルな観点から見た我が国の個人情報保護法などの諸課題や今後の方向性について解説があった。

なお、講演の概要は JISA 会報 109 号に掲載予定である。

※情報サービス産業白書 2013 を追加でご入り用の際は下記申込書にてお申し込み下さい。

<http://www.jisa.or.jp/report/wp2013-jisamember.pdf>

※白書アンケート集計結果 (Excel 形式) をウェブにアップしました。

白書 355 ページに記載の URL とパスワードにてアクセスしダウンロードいただけます。

(田畑)